

## 教育民生常任委員会 摘 録

1. 開 催 日 令和3年9月8日(水) 第2委員会室
2. 出席委員 林高正委員長 宇江田豊彦副委員長 坂本義明 藤木百合子 國利知史 前田智永
3. 欠席委員 なし
4. 事務局職員 丸飯龍太議会議務局主事
5. 説 明 員 なし
6. 傍 聴 者 なし
7. 会議に付した事件
  - 1 陳情について
    - (1) 陳情第13号 地域住民のいのちを守るための緊急陳情
    - (2) 陳情第14号 地域住民のいのちを守るための緊急陳情書
  - 2 閉会中の継続調査について

---

午後2時24分 開 議

○林高正委員長 ただいまから教育民生常任委員会を開会いたします。

---

### 1 陳情について

- (1) 陳情第13号 地域住民のいのちを守るための緊急陳情
- (2) 陳情第14号 地域住民のいのちを守るための緊急陳情書

○林高正委員長 本日の協議事項1点目、陳情についてということで、別添の資料、陳情第13号、地域住民のいのちを守るための緊急陳情、陳情第14号、地域住民のいのちを守るための緊急陳情書ということで、ほぼ同じ内容ではあるのですけれど、出されております。このことについて、どのように取り扱うのか皆さんで協議していただきたい。少し時間を置きますので、各自、目を通してみてください。

○藤木百合子委員 かかわったのですけれど、このあいだ陳情をさせていただきまして、今コロナということもあるのですけれど、日赤病院が公立・公的病院リストというか、何年前かに病院の再編とかいう中で名前が中国新聞に出て、日赤がなくなるのではないかみたいなこともありました。そういうことではないということではあったのですけれど、やはりそれをやめたということはまだ言われてないのです。それと、今コロナということもあって、保健所とか、この陳情項目の中に、保健所の拡充とか、医師・看護師・介護職・保健師等の増員が必要であることを認識し、拡充・増員計画を示すことと、公立・公的病院の再編統合「再検証リスト」については、撤回するとともに、地域住民が医療の心配をしなくても暮らせるよう、感染症・一般病床・急性期・療養型を問わず、病床数の拡充設置をすること。また、公立・公的病院の拡充計画を示すことという2つの陳情項目を挙げさせてもらって、保健所が何年前からか、半分に減らされているのです。庄原もなくなっているし、やはり今からは感染症とともに生きていかなくてはいけない世の中になってくるということもあって、そ

ういう施設を拡充してほしいという思いもあって出しておりますので、是非、皆さんの御賛同をよろしくお願いいたします。

○林高正委員長　　という藤木委員のお願いでございました。結局、陳情項目はほぼ同じような感じですね。保健所をふやしたり、看護師・介護職が必要であるからふやしてくれと。それと、今の公立病院の話ですけど、日赤なんかの検証リストを撤回せえと。そして、病床数の拡充をしてくださいというお願いでございます。通例でしたら、はっきり言うと、供覧に付すという形で、見させていただきましたということでいつも扱わせていただくのですけれど、それでよろしいですか。

○宇江田豊彦副委員長　　今、藤木さんが説明されましたが、これを最終的にどういうふうに対処するようにしてほしいのかがわからないのですよ。

○藤木百合子委員　　庄原市議会として、国へこの陳情をしてほしいということかな。

○林高正委員長　　いや、おたくの共産党が陳情書にして出して上げられているだろうから、そうじゃない。いろんなところがこれは多分出されています。当然ながら、国へも出されている。ですから、これは緊急陳情と書いてあるけれど、カテゴリーからいえば要望書なのです。それについては、議会の扱いとしたら見るだけで、供覧に付すというところなのです。今まで全部そういう扱いで処理させてもらっているということです。ですから宇江田副委員長、そういう扱いですね。

○宇江田豊彦副委員長　　通常はね。通常はこれを国に強く迫ってほしいから、議会議決をして意見書を国へ出してほしいとか、例えば、議長宛てだから、庄原市議会はこういうふうにしてほしいと言われても、庄原市議会ができることではないので、庄原市議会はこういうことを望んでいるというまとめをして、国の各機関に対して、庄原市議会はこのようなことを望んでいますというふうに議会議決をして、意見書を送るという手続をしないと、直接これが出たからといって議会として国へ要請しますということにはならないです。

○林高正委員長　　だから、いろんな手続のやり方があって、さっきも言ったように、これはただの要望書です。これもちょっと余談や蛇足になるけれど、我々の議会として、そういったものを意見書として出すように今段取りをしていますから、決してこれをほごにするようなものではありません。

---

## 2 閉会中の継続調査について

○林高正委員長　　続いて、閉会中の継続調査についてでございます。現在、3点、地域包括ケアシステムの構築について、教育条件整備について（学校適正規模・適正配置ほか）、感染症対策について（本市の医療体制の現状と課題）という3点を閉会中の継続調査に挙げております。これは前にも申しましたけれど、議会が閉会中には、これに挙げてないものは委員会が開けない。開こうとすれば任意の調査会という形でしか開けないので、皆さんがどうしてもこのことを挙げておいてもらって検討したほうがいいよと。例えば、13日に出てみないとわからないけれど、先取りでJR存続問題についてとかいう1点を入れておけば、閉会中でも担当課を呼んで意見を聞くことができるし、JRの本社へ行ってみようやと言って、本社まで行かないだろうけれど、広島支社とか行って話を聞こうということも可能になるということでございます。何か追加で挙げるものがございましたら。

○宇江田豊彦副委員長　　委員長、余りたくさん挙げてても実際には多岐にわたってはできない。これでいいのではないですか。

○林高正委員長　よろしいですか。では、そういうことで、この3点を継続調査ということで挙げさせていただきます。その他、何かありますか。ないですね。これにて委員会を散会いたします。ありがとうございました。

午後2時32分　散　会

---

庄原市議会委員会条例第30条の規定により、ここに署名する。

教育民生常任委員会

委員長